

国柄探訪
平成24年7月15日号メール
マガジン

なぜ日本食は世界で人気があるのか

数世代、数百年かけて伝えられる技術と伝統がその原動力。

1. 世界に最も良い影響を与える国—日本

2006(平成18)年に英国のBBC放送が、世界33ヵ国、約4万人を対象に世論調査を行った結果、「世界に良い影響を与える国」としてトップに挙げられたのが日本だった。全体では肯定が55%、否定は18%だった。この年は平成13(2001)年以来、靖国参拝を続けた小泉純一郎元総理が退任した年であり、靖国参拝で「日本は国際的に孤立する」と一部のマスコミは喧伝してきたが、それは事実でない事が判明した。確かに中国と韓国では否定が肯定を上回ったが、ともに大東亜戦争に巻き込まれたインドネシア、フィリピンの肯定が85%、79%という数字を見れば、中韓2ヵ国の方が世界の異常値であることが分かる。

この調査で興味深いのは、日本人自身の自國に対する評価が極めて低いことだ。2010(平成22)年の調査結果では、日本人の日本に対する肯定的

評価は43%だが、上述のインドネシア、フィリピンの70%以上、米国65%、ロシア58%、タイ

66%、英國57%などと比べると段違いに低い。

世界各国での日本に対する高い評価と、自國への世界だつた白眉の評価のギャップこそ、わが国の教育や報道の大きな偏向ぶりを表している。

寿司屋さん

海外でのこうした高い評価は、一体どのように形成されているのだろう。外國の一般大衆が日本に対する

京都を連想させる小さな美しい都市だ。

ここでも日本食は大人気で、20~30軒ほども

いる。日本人はラーメンを中華料理だと思っている

フランスに入つて、美食都市として有名なりヨン

ピールする、だらうと思われた。

日本人はラーメンを中華料理だと思っている

フランスに入つて、美食都市として有名なりヨン

ピールする、だらうと思われた。

日本人はラーメンを中華

